調査票

(回答機関:薬務グループ)

終了年度 実施機関 試験研究課題名 平点14年度 ペイクロウェーブ分解法(MW)と誘導ブラズマ 質量分析法の検討 ー方分析法の検討 マイクロウェーブ分解法(MW)と誘導ブラズマ 質量分析法の検討 「ペクロウェーブ分解法(MW)と誘導ブラズマ 質量分析法の検討 意品などを少量の数で迅速分解できる MW 分解法及び高感度で迅速に含合品中の金属の辺逸 (MB) な品中の金属成分のご逃一う的が法及び う解検査に反映させるため、平成13年度から2年間実施した。 (検討した金属成分25成分中17成分中しては、本分析法が有効であり、食品中の金属成 分分析検査や健康危機発生時における検査に活することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 マイクロウェーブの第2000 分析検査や健康合機発生時における検査に活することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成14年度 P15~80 分析検査において金属成分分析に活用 ア5~80 ア75~80 ・ 含品体査にもいて金属成分分析に活用 P75~80 ・ 含品検査において金属成分分析に活用 15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 ・ 15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 (利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点がある場点、記入する) 外部準備アドバイザーのコメント 小部値示する 小部値信アドバイザーのコメント 小部値信アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されていくがっのにあったいのにあったいたいたいたいたいたいたいでいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいた			(回答機関:薬務グループ)	
平成14年度 衛生研究所 質量分析法(ICP-MS)による食品中の金属の迅速 	終了年度	実施機関	試験研究課題名	
			マイクロウェーブ分解法(MW)と誘導プラズマ	
武験研究の目的・内容・結果 食品などを少量の酸で迅速分解できる MW 分解法及び高感度で迅速に一斉分析可能な ICP-MS 分析計を用い、食品中の金属成分の迅速一斉分析法を検討し、食品衛生対策及び健康 危機発生時の検査に反映させるため、平成13年度から2年間実施した。 検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成 分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品体査において金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 利活用にあたっての問題点 利活用にあたっての問題点 利活用にあたっての問題点 利活用にあたっての問題点 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する)	平成14年度	衛生研究所	質量分析法(ICP-MS)による食品中の金属の迅速	
食品などを少量の酸で迅速分解できる MW 分解法及び高感度で迅速に一斉分析可能な ICP-MS 分析計を用い、食品中の金属成分の迅速一斉分析法を検討し、食品衛生対策及び健康 危機発生時の検査に反映させるため、平成13年度から2年間実施した。 検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成 分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (小活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する)			一斉分析法の検討	
ICP-MS 分析計を用い、食品中の金属成分の迅速一斉分析法を検討し、食品衛生対策及び健康 危機発生時の検査に反映させるため、平成13年度から2年間実施した。 検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成 分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品は由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 (利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する)	試験研究の目的・内容・結果			
危機発生時の検査に反映させるため、平成13年度から2年間実施した。 検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成 分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 (利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する)	食品などを少量	量の酸で迅速分解できる	MW 分解法及び高感度で迅速に一斉分析可能な	
検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成 分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75-80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用	ICP-MS 分析計を	用い、食品中の金属成分の	D迅速一斉分析法を検討し、食品衛生対策及び健康	
分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。 福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、	危機発生時の検査	に反映させるため、平成	13年度から2年間実施した。	
福島県衛生研究所年報 平成12・13年度 P11 同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、	検討した金属成分25成分中17成分については、本分析法が有効であり、食品中の金属成			
同 平成14年度 P75~80 利活用の状況 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、	分分析検査や健康危機発生時における検査に活用することが可能となった。			
利活用の状況	福島県衛生研	究所年報 平成12・13	3年度 P11	
 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、 	同	平成14年度	P 7 5 ~ 8 0	
 ・食品検査において金属成分分析に活用 ・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、 				
 ・ 食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用 ・ 1 5 ~ 1 6 年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、 	利活用の状況			
 ・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用 利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、 	 ・食品検査において金属成分分析に活用 			
利活用にあたっての問題点 (利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、	・食品に由来する健康危機管理発生時における金属成分分析に活用			
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、	・15~16年度に共同研究として実施された県産農産物の元素成分測定に活用			
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
(利活用にあたっての課題や問題点がある場合、記入する) 利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、	利活用にあたっての問題点			
利活用を促進する提案 (上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
(上記問題点を解決する提案を記入する) 外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
外部評価アドバイザーのコメント 本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、				
本研究成果の活用状況の概略が記されているが、問題点や促進する方法に関する提案が無く、		ん 立 討 (声 マ じ	バイザーのコメント	
仏 流力 们 小 允 力 じ な い 感 か め る 。				
	状況分析か允分で	はい 感かめる。		